



**58年の歴史に幕 志津川町漁協閉所式**

県内31漁協が今年4月に合併して宮城県漁業協同組合となりますが、これに参加する志津川町漁業協同組合の閉所式が2月4日(日)、町総合体育館「ベイサイドアリーナ」文化交流ホールで開催されました。

志津川町漁協は昭和24年(1949年)に発足し、平成13年(2001年)に志津川町戸倉漁協と合併して現在の形になりました。これまで、ギンザケ養殖やカキのトレーサビリティシステム実証試験、官民でのスキューバダイビング事業などの、先進的事業にも積極的に取り組んできました。

式典では、チリ地震津波や昨年10月の低気圧被害など、多くの自然災害を克服してきた58年の歴史を振り返りながら、これからの経営安定と地域経済の活性化を誓い合いました。

なお、合併後の漁協事務所の名称は、宮城県漁業協同組合志津川支所となります。

58年の歴史を振り返り、地域経済の活性化を誓い合う



婦人防火クラブによる初期消火訓練

**大切な文化財を地域で守ろう**

1月28日(日)、石浜地区の飯綱神社を会場に、文化財防火デー行事として火災防ぎょ訓練が行われました。

消防署、地域の消防団や婦人防火クラブなどの皆さん約120人が参加し、初期消火訓練、火災防ぎょ訓練、消火器の取り扱い講習など真剣な表情で取り組みました。

**町総合計画基本構想を答申**

2月1日(木)、町長から諮問されていた町総合計画基本構想について、町総合計画審議会会長が「その基本的な考え方や内容について、合併後の新しいまちづくりや一体感の醸成につながるものであり妥当である。」旨の答申を行いました。

答申書には、施策の取組み状況等を町民にわかりやすく周知する仕組みの構築や雇用の確保、地域経済の活性化及び協働のまちづくり実現の必要性についての意見が添えられました。



答申書を町長に提出する高橋長人町総合計画審議会会長

**スピード感あふれる好プレー**

2月18日(日)、第2回南三陸町フットサル大会が、志津川公民館で開催されました。フットサル競技は、5人制の室内サッカー競技で、10分ハーフの合計20分で試合が行われます。気軽に楽しめることから、人気のスポーツです。

大会には高校生から40歳代までで編成された10チームが参加し、試合では選手の皆さんがスピード感あふれる好プレーを披露し、さわやかな汗を流しました。



ゴールを目指してコートいっばいに走り回る選手たち

**ワカメの刈り取りを体験**

2月4日(日)、伊里前漁港で山形県庄内町の皆さんがワカメの刈り取りを体験しました。

庄内町と庄内町国際交流協会が主催し、友好町である南三陸町との住民交流事業の一環として、体験活動を通じて両町民のさらなる相互理解と交流を深めようといわれたものです。

刈り取ったワカメは、昨年11月に自分達で種ばさみ(ロープにワカメの種をはさみ込むこと。)をしたものです。漁港に帰ってからはメカブの切り分けも行いました。雪の降る寒い中で作業でしたが、参加者の皆さんからは、時折笑顔も見られました。



ワカメの収穫作業を体験する庄内町の皆さん

**子どもたちの安心・安全を願って**

2月18日(日)、「南三陸っ子安全・安心まちづくり大会」が町総合体育館「ベイサイドアリーナ」文化交流ホールで開催されました。

この大会は、町と南三陸地区防犯協会、南三陸警察署が犯罪被害から子どもを守るなどを目的に開いたもので、町内の防犯9団体の紹介、子どもを守る安全宣言、子どものための安全教室などが行われました。



子どもたちを守るためには地域の輪を広げることが大切です

**壮大で色彩豊かな吹奏楽を披露**

2月11日(日)、南三陸吹奏楽祭が志津川中学校体育館で行われました。

このコンサートは、志津川小学校吹奏楽部、志津川中学校吹奏楽部、歌津中学校吹奏楽部、志津川高校音楽部、社会人で作る志津川吹奏楽団の5団体が、日ごろの練習の成果を合同演奏会で、町民の皆さんに披露しようと企画されたものです。

各団体の演奏のあと、総勢120人による壮大な合同演奏がフィナーレを飾り、会場に集まった家族や音楽愛好者を魅了しました。



色彩豊かな演奏で観客を魅了する合同吹奏楽団